大学･高専機能強化支援事業（支援２：高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）
【大学　一般枠、特例枠】実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F122110106224	改組内容	研究科等の設置・増員（一般枠）
大学名	静岡大学	設置区分	国立	事業計画名	情報学の深化・汎化を通じた静岡大学高度人材育成プログラム
学校種	大学	都道府県	静岡		

1.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画（上欄：研究科等の設置等及びその準備（設置認可申請等）、下欄：教育環境の整備（施設整備、教員採用等）、教育活動の充実等の取組）と取組状況及び自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
令和5年度	【情報系組織の入学定員】<博士> 11名、<修士> 60名 自然科学系教育部情報科学専攻（博士後期課程）入学定員11名 総合科学技術研究科情報学専攻（修士課程）入学定員60名	【情報系組織の入学定員】<博士> 11名、<修士> 60名 自然科学系教育部情報科学専攻（博士後期課程）入学定員11名 総合科学技術研究科情報学専攻（修士課程）入学定員60名	令和5年度自己評価	【２】計画を十分には実施していない。
	【修士課程】 10月　令和7年度から情報学コースを基盤情報学コース及び領域情報学コースに再編する計画に向けて、カリキュラムの検討を行うとともに、新しい入試制度「多様性人材入試（仮称）」の準備を進める。 10月　学生へのニーズ調査、アンケート調査を実施し、カリキュラム編成等、コース設置のエビデンスの一つとする。 ①2月　講義動画の作成を行う。 【博士後期課程】 6月　情報系博士進学説明会を開催する。（実施済み） 【共通】 10月　本事業予算にて雇用する教員について、分野等の協議を行う。 ②12月　本事業を推進するために、職員の採用（特任職員2名）を行うとともに、機器の整備を行う。 2月　公募要項等を公開し、募集を開始する。 ③3月　改組後の授業実施・研究指導を想定して、教室等の施設整備を開始する。（初年度）	【修士課程】 10月　令和7年度から情報学コースを基盤情報学コース及び領域情報学コースに再編する計画に向けて、WGを立ち上げてカリキュラムの検討を始めた。また、新しい入試制度「多様性人材入試（仮称）」の準備を始めた。 10月　学生へのニーズ調査、アンケート調査を実施し、カリキュラム編成等、コース設置のエビデンスの一つとした。 講義動画の作成については、次年度に先送りした。 【博士後期課程】 6月　情報系博士進学説明会を開催した。 【共通】 10月　次年度以降、本事業予算にて雇用する教員について、採用に向けて分野等の協議を開始した。 12月　本事業を推進するために、特任職員の採用準備を行うとともに機器の整備を行った。 1月　本事業を推進するために、特任職員2名の採用を行うとともに機器の整備を行った。 2月　公募要項等の準備を行った。 3月　改組後の授業実施・研究指導を想定して、教室等の施設整備を開始した。	2月に予定していた動画作成については検討の結果、より教育効果の高い講義動画の作成に向け、カリキュラム編成と作成動画の対象とする講義の内容の精査を慎重に行うこととしたため、翌年度に延期している。 令和6年度については内容を精査し、制作することとしている。 同じく2月に予定していた公募要項等の公開及び募集開始については、本事業における定員増分の募集開始が令和7年度概算要求の結果を受けた国立大学入学定員増減数公表後（令和６年８月以降）となるため、翌年度に延期している。 また、施設整備については、令和5年11月から建設用ケーブルの新規受注が順次停止される事態が生じている影響により、令和5年度に実施予定であった改修工事が次年度以降に延期となったことから、令和6年度については、資材の調達を待って順次実施していくこととしている。	
令和6年度	【情報系組織の入学定員】<博士> 11名、<修士> 60名	【情報系組織の入学定員】<博士> 11名、<修士> 60名 自然科学系教育部情報科学専攻（博士後期課程）収容定員増（入学定員13名）及び総合科学技術研究科情報学専攻（修士課程）収容定員増（入学定員85名）に係る令和7年度概算要求調書の提出	令和6年度自己評価	【３】計画を十分に実施している。
	【修士課程】 4月　2コースへの再編について広報を行う。 7月「基盤情報学コース」及び「領域情報学コース」への再編計画に基づき、令和7年度入試を実施する(「多様性人材入試（仮称）」の実施)。（以降継続実施） 【博士後期課程】 6月　令和7年度からの定員増2名（定員13名）に向けて、情報系博士進学説明会及び研究員として雇用しつつ博士後期課程で学ぶ新制度（Student　Researcher：SR）について説明会を行う。 【共通】 ①4月　改組後の授業実施・研究指導を想定して、教室等の施設整備を継続（2年目）するとともに、備品の整備を行う。 ②本事業を推進するために、職員の雇用を継続する。 ③10月　新コース等でのカリキュラム等を検討するために教員の採用を行う。（教授2名、特任教授3名）	【修士課程】 ①4月、5月、6月、10月　2コースへの再編について広報（ウェブでの説明、説明会）を行った。 ②7月、11月「基盤情報学コース」及び「領域情報学コース」への再編計画に基づき、令和7年度入試を実施した(「多様性人材入試」の実施)。（以降継続実施） 【博士後期課程】 ③6月、11月　令和7年度からの定員増2名（定員13名）に向けて説明会を行った。 【共通】 ④4月　改組後の授業実施・研究指導を想定して、教室等の施設整備を継続（2年目）するとともに、備品の整備を行った。 ⑤本事業を推進するために、職員の雇用を継続した。 ⑥9月～3月　新コース等でのカリキュラム等を検討するために教員の採用を行った。（助教1名、講師2名）（R7.3.31承認）		
令和7年度	【情報系組織の入学定員】<博士> 13名、<修士> 85名 4月　自然科学系教育部情報科学専攻（博士後期課程）2名増員予定（入学定員13名） 4月　総合科学技術研究科情報学専攻（修士課程）25名増員・コース設置予定（入学定員85名(基盤情報学コース50名、領域情報学コース35名)）	【情報系組織の入学定員】<博士> 13名、<修士> 85名 4月　自然科学系教育部情報科学専攻（博士後期課程）2名増員予定（入学定員13名） 4月　総合科学技術研究科情報学専攻（修士課程）25名増員・コース設置予定（入学定員85名(基盤情報学コース50名、領域情報学コース35名)）	令和7年度自己評価	【３】計画を十分に実施している。
	【修士課程】 ~~④4月　新コース等での教育を実施するために教員の採用を行う。（教授1名、特任教授1名）~~ ①10月　講義動画の作成を行う。（R7.3.31承認） 【博士後期課程】 ②4月　SR新制度を実施する。 ③6月　情報系博士進学説明会及びSR新制度についての説明会を開催する。 【共通】 ④4月　改組後の授業実施・研究指導の充実のため、教室等の施設及び備品整備を継続する。（R7.3.31承認） ~~⑤~~⑤新コース及び博士後期課程の教育を実施するために教職員の雇用を継続する。 ⑥4月　新コース等でのカリキュラム等を検討するために教員の採用を行う。（特任教授8名、非常勤講師40回分）（R7.3.31承認） ⑦10月　東京にサテライト拠点を置く。（R7.3.31承認）	【修士課程】 ①10～3月　講義動画２科目29本を作成した (「領域情報学概論Ⅰ(前期分)14本（字幕のみ）、「DX実践論Ⅰ(後期分)15本） 【博士後期課程】 ②4月　SR新制度を実施した（ 自然科学系教育部情報科学専攻に在学する優秀な社会人学生と、新卒後に社会人経験を持つ学生をStudent Researcher（SR）として採用する制度）。国際的展開を含めた主体的な研究活動を支援するため、SRに対して研究費を支給。 ③6月、11月　6月16日（月）及び11月18日（火）に　情報系博士進学説明会及びSR新制度についての説明会を開催した（6月博士進学説明会の参加者数は32名、11月はSPRING制度説明会に含める形で実施、参加者数は25名） 【共通】 ④9月　改組後の授業実施・研究指導の充実のため、教室の備品整備を行った。 ⑤新コース及び博士後期課程の教育を実施するために教職員の雇用を継続した。 ⑥4月　新コース等でのカリキュラム等を検討するために教員の採用を行った。（特任教授7名、非常勤講師43回分） ⑦7月　東京にサテライト拠点を置いた。		
令和8年度			令和8年度自己評価	リストから選択してください。
	【修士課程】 ①8月　講義動画の作成を行う。 2月　両コースの教育研究を中心とする点検評価を行う。 3月　ニーズ調査、アンケート調査を実施し、コース設置の検証を行う。 【博士後期課程】 4月　SR新制度を継続する。 6月　令和9年度からの情報科学専攻の定員増3名（定員16名）に向けて、情報系博士進学説明会及びSR新制度についての説明会を開催する。 【共通】 ②新コース及び博士後期課程の教育を実施するために教職員の雇用を継続する。			
令和9年度			令和9年度自己評価	リストから選択してください。
	【修士課程】 2月　両コースの教育研究を中心とする点検評価を行う。 【博士後期課程】 4月　SR新制度を継続する。 6月　情報系博士進学説明会及びSR新制度についての説明会を開催する。 【共通】 ①新コース及び博士後期課程の教育を実施するために教職員の雇用を継続する。			
令和10年度			令和10年度自己評価	リストから選択してください。
	【修士課程】 2月　両コースの教育研究を中心とする点検評価を行う。 3月　ニーズ調査、アンケート調査を実施し、コース設置の検証を行う。 【博士後期課程】 4月　SR新制度を継続する。 6月　情報系博士進学説明会及びSR新制度についての説明会を開催する。 2月　教育研究を中心とする点検評価を行う。 【共通】 ①新コース及び博士後期課程の教育を実施するために教職員の雇用を継続する。			
令和11年度			令和11年度自己評価	リストから選択してください。
	【修士課程】 ①8月　講義動画の作成を行う。 2月　両コースの教育研究を中心とする点検評価を行う。 2月　本事業全体の中間評価を行う。 【博士後期課程】 4月　SR新制度を継続する。 6月　情報系博士進学説明会及びSR新制度についての説明会を開催する。 2月　教育研究を中心とする点検評価を行う。 【共通】 ②新コース及び博士後期課程の教育を実施するために教職員の雇用を継続する。			
令和12年度			令和12年度自己評価	リストから選択してください。
	【修士課程】 2月　両コースの教育研究を中心とする点検評価を行う。 【博士後期課程】 4月　SR新制度を継続する。 6月　情報系博士進学説明会及びSR新制度についての説明会を開催する。 2月　教育研究を中心とする点検評価を行う。 2月　本事業全体の中間評価を行う。 【共通】 ①新コース及び博士後期課程の教育を実施するために教職員の雇用を継続する。			
令和13年度			令和13年度自己評価	リストから選択してください。
	【修士課程】 2月　両コースの教育研究を中心とする点検評価を行う。 【博士後期課程】 4月　SR新制度を継続する。 6月　情報系博士進学説明会及びSR新制度についての説明会を開催する。 2月　教育研究を中心とする点検評価を行う。 【共通】 ①新コース及び博士後期課程の教育を実施するために教職員の雇用を継続する。			
令和14年度			令和14年度自己評価	リストから選択してください。
	【修士課程】 ①8月　講義動画の作成を行う。 2月　両コースの教育研究を中心とする点検評価を行う。 【博士後期課程】 4月　SR新制度を継続する。 6月　情報系博士進学説明会及びSR新制度についての説明会を開催する。 2月　教育研究を中心とする点検評価を行う。 【共通】 ②新コース及び博士後期課程の教育を実施するために教職員の雇用を継続する。 2月　本事業全体の総合的評価を行う。			

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	静岡大学

２.申請資格の確認

ⅰ） 学生募集停止中の大学
ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
ⅲ） 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反」が付されている大学
ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の○の項目に該当している）

申請資格の状況	ⅰ）	ⅱ）	ⅲ）	ⅳ）	ⅴ）
すべての項目に該当していない					

３.申請要件の取組状況

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、学部を置かない大学や新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。

② 志願者数の状況や入学定員及び収容定員充足率等を踏まえた十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。）

④ 特定成長分野のうちデジタル分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

⑤ 計画の対象となる研究科・専攻等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

⑥ 特定成長分野のうち情報系分野に係る研究科、専攻、コース等の設置・増員（研究科、専攻の定員の増員を伴わないものを含む。）、専攻に係る課程の変更（研究科、専攻、コース等の設置・増員及び専攻に係る課程の変更に伴う学部、学科、コース等の設置・増員（学部、学科の定員の増員を伴わないものを含む。）を含む。）（以下「研究科等の設置等」という。）による体制強化の計画であること。なお、コース等の設置・増員による体制強化の場合は、学則において、コース等の募集人員数を明記する計画であること。

⑦ 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る研究科等の設置等の取組であること。

⑧ 教育の実績を有する既設の情報系分野に係る研究科、専攻（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学において、高度情報専門人材を育成する計画であること。（大学（特例枠）については、既設の情報系分野に係る学部、学科（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学とする。）

⑨ 機構による事業計画の選定があった日から２年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる研究科等の設置等を行う計画であること。

⑩ 計画の対象となる研究科等の設置等において、大学院修士課程（博士前期課程を含む。）15名以上又は大学院博士課程（博士後期課程を含む。）５名以上の入学定員の増員を行う計画であること。

⑪ 国立大学について、大学全体の収容定員の増員を伴う学部定員の増員を行う場合は、国立大学法人の第５期中期目標期間終了時までに他学部・他学科を中心に同規模の定員減を行う計画であること。

⑫ 教員の確保・配置状況等を踏まえた実現可能性の高い計画になっていること。

⑬ 文部科学省が実施する数理・データサイエンス・ＡＩ教育プログラム認定制度における「応用基礎レベル」について、大学又は計画の対象となる学部若しくは計画の対象となる研究科に関連する主な学部が認定を受けている、又は認定を受ける計画があること。なお、学部を置かない大学で、本認定制度の対象に該当しないものについては、本要件は適用されない。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑫の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の○の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
すべての項目が要件を満たしている												

①～⑫の要件を満たしていない又は対象でない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑬,⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑬,⑭について	現在の状況
⑬文部科学省が実施する数理・データサイエンス・ＡＩ教育プログラム認定制度における「応用基礎レベル」について、大学又は計画の対象となる学部若しくは計画の対象となる研究科に関連する主な学部が認定を受けている、又は認定を受ける計画があること。なお、学部を置かない大学で、本認定制度の対象に該当しないものについては、本要件は適用されない。	認定を受けている
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

４.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度　の取組実績及び申請時の計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

① 地域において自治体や企業等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
【修士課程】 情報学専攻の教員は、ヤマハ発動機、スズキ、ヤマハをはじめとする多数の地域企業と共同研究を行っており、学生の研究指導もこれをベースとし、企業が抱える最先端の技術的課題を教育及び研究指導に反映している。また、企業インターンシップの授業科目や、学生が地域企業の課題解決をPBLで行う授業科目を設置しており、これらは基盤/領域情報学コースにおいても継続する。さらに、領域情報学コースでは、企業での実務経験を有する教員や非常勤講師を配置し、自治体や企業等と連携した授業やPBLなどを強化する計画である。 【博士後期課程】 情報科学専攻の教員は、ヤマハ発動機、スズキ、ヤマハ、浜松ホトニクスなど地域の有力企業との共同研究を実施しており、博士学生がこれらの研究に主体的に関与している。また、地域企業と連携したキャリア教育により、修了後には地域への人材還流が行われている。さらに、分野融合によるイノベーション創出事業（光医工学超領域分野）を通して地域企業との連携を行っており、情報科学専攻の学生の多くが参加している。これらの取組は、本事業採択後も継続して実施する。	【修士課程】 ヤマハ発動機、スズキ、ヤマハ、浜松ホトニクスなど地域の有力企業との共同研究を6件(博士課程と重複あり)行い、学生に対しては企業が抱える最先端の技術的課題を教育及び研究指導に反映した研究指導を行った。また企業インターンシップの授業科目や、学生が地域企業の課題解決をPBLで行う授業科目を開講し、14名が受講した。 【博士後期課程】 情報科学専攻の教員は、ヤマハ、ヤマハ発動機など有力企業を含む地域企業との共同研究を７件(修士課程と重複あり)行い、博士学生２名がこれらの研究に主体的に関与した。地域企業からの社会人博士の受け入れ（在学生2名、内1名が2025年9月に博士（情報学）の学位取得）を含め、地域企業と連携したキャリア教育を通じ、地域への人材還流も行った。 また、分野融合によるイノベーション創出事業（光医工学超領域分野）を通して地域企業との連携を行い、情報科学専攻の学生3名が参加した。 総合科学技術研究科情報学専攻（博士前期課程）では、入学定員を60名から85名へと大幅に拡充した。これに伴い、教育体制を「領域情報学コース」と「基盤情報学コース」の2コース制へと刷新した。 特に新設の「領域情報学コース」では、DX（デジタルトランスフォーメーション）を多様な産業や社会基盤に適用し、新たな価値創出を牽引する高度情報専門人材の育成に注力している。特に、「領域情報学コース」の基幹科目『DX実践論』では、これら実務家教員がビジネスや製品開発の最前線における問題解決や様々なバックグランドを直接聴くことができる実践的な教育を展開している。また、学際的な教育の一環として開講している『領域情報学特別講義』では、本専攻の教員に加え、総合科学技術研究科（工学・理学・農学専攻）および浜松医科大学の教員が講義を担当した。これにより、AIやデータ基盤技術を核として、情報学が諸学術領域や社会インフラへ「深化・汎化」している現状を多角的に学ぶ機会を提供した。	

② 初等中等教育段階の学校との連携に関する取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
【修士課程】 情報学部・情報学専攻では、学生のプログラミングやICT活用の知見を活かし、地域小学校でのプログラミング教育等に関するボランティア活動を行っている。また、地域高等学校との包括連携協定、出前授業の実施なども行っている。さらに、情報技術・プログラミング技術の教育の連携を目的として、(1)情報オリンピック日本委員会による地域密着型の学習支援講習会「レギオ」(Regional Training Center)(静岡地区）の開催、(2)「自律型ロボットコンテスト世界大会（WRO）の浜松での開催（約350名の地元高校生参加）なども行っている。この種の取組は、本事業採択後も継続して実施する。 【博士後期課程】 創造科学技術大学院は、2006年から理学部・理学専攻と共に「サイエンスカフェ in 静岡」を開催し、地域の小中高生等へのアウトリーチ活動を継続している。本事業採択後はこの活動を拡充し、情報学専攻と協力して「情報サイエンスカフェ in 浜松」も開催する。	【修士課程】 初期段階からの提携を通した協力関係を学外機関と構築することを目指し、高等学校ごとの個性を尊重しつつ，実践的かつ実効的な情報教育活動の実現のために，監督機関などと共同歩調を取りながら，各高等学校等の円滑な情報教育活動の支援を実現するため、高等学校及び教育委員会などの7機関との連携体制を構築した。 また、浜松工業高校の学校運営協議会、情報処理学会での中高生情報学指導者懇談会などのイベントや企画を通してオープンな場での議論を行った。 情報学部・情報学専攻では、「浜松市と大学との連携事業」の一環として地域の協働センターで2回完結型のプログラミング講座を行い、7名の小中学生とその保護者が参加した。さらに、令和6年度から開始されたDXハイスクール事業に関連し、静岡県教育委員会及び個別の高等学校数校と話し合いの機会を設け、連携の方向性及びその内容について検討した。 また、地域高等学校との包括連携協定や、出前授業17件の実施なども行うとともに、情報技術・プログラミング技術の教育の連携を目的として、静岡大学情報学部主催・常葉大学経営学部共催で地域密着型の学習支援講習会「レギオ」(Regional Training Center)(静岡地区）を静岡大学で対面開催（入門編25名、初中級編24名の参加）した。 【博士後期課程】 創造科学技術大学院、光医工学研究科、電子工学研究所およびグリーン科学研究所が共催する超領域国際シンポジウムでは、本学が実施している未来の科学者養成スクール（FSS）を受講する高校生にも、英語での発表の場を提供している。R7年度は、高校生11人が博士学生に交じって発表を行った。	

③ 女子学生、社会人学生、留学生等の確保に向けた特色ある取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
【修士課程】 本事業で、女子学生・社会人学生・留学生対象の新しい入試「多様性人材入試(仮称）」を行う計画である。これらの入試では、領域情報学コースで指向する「情報×理学・工学・農学等」に興味を持つ学生を選抜するため、興味を持つ分野と情報学を組み合わせた研究計画や実績で選考を行うことで、入学者の間口を広げる。 【博士後期課程】 「新しいタイプの社会人」、いわゆる"第二新卒者"や情報系分野へジョブチェンジを図る社会人は、生活基盤が弱いにも関わらず社会人であるがゆえに修学支援の対象にならない。そこで本学の研究員として雇用することで、経済面と経歴面でのサポートをする（Student Researcher：SR）。この取組で、これまで入学を躊躇していた社会人学生層を掘り起こす。留学生に関しては、本学で実施しているAsia Bridge Program（2015年から実施しているアジアの留学生を受け入れるプログラム（奨学金付））、国費外国人留学生優先配置及びDouble Degree Programを介した情報科学分野への受け入れを推進する。	【修士課程】 領域情報学コースで指向する「情報×理学・工学・農学等」に興味を持つ学生を選抜するため、女子学生・社会人学生・留学生対象の新しい入試「多様分野人材入試」をR7年度から継続して実施した。 【博士後期課程】 令和7年度より社会人学生および第2新卒学生を対象とした「Student Researcher（SR）」制度を創設した。具体的には、産業界へのDX普及の中核となる人材の主体的な研究活動を支援する研究費（各年度2名まで、3年間）を支給する体制を整え、初年度は1名を採用した。さらに我が国の情報学教育と研究の国際化の推進に向けて、国費留学生の受け入れやダブルディグリープログラム（DDP）の拡充についても、情報科学専攻ならびに創造科学技術大学院総務委員会を中心に具体的な検討を進めており、グローバルな教育研究体制の構築に着手している。	

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	静岡大学

④　他の大学（外国大学を含む。）・高等専門学校等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
【修士課程】 情報学専攻には海外インターンシップ制度があり、海外の大学や研究機関、企業等に学生を派遣して学術交流を促進している。また、本学は文部科学省「数理・データサイエンス・AI 教育の全国展開の推進」の特定分野校（理工農学分野）に採択されており、全国の大学と連携しつつ、数理・DS・AI教育の普及展開に貢献している。さらに、情報学専攻の母体である情報学部は、enPiT（成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成）のセキュリティ分野及び組込みシステム分野にも関わっており、東北大学や慶應義塾大学等とも連携した取組を行っている。これらの活動は、本事業計画期間中も継続する。 【博士後期課程】 創造科学技術大学院では、2006年からインド工科大学ハイデラバード校など17の海外協定校とDouble Degree Programを実施しており、博士教育の国際的な連携を行っている。また、国費外国人留学生の優先配置を継続的に獲得するとともに、私費外国人留学生も多数受け入れている。さらに、浜松医科大学との医工情連携（シンポジウムの開催等）も進めている。これらの活動は、本事業計画期間中も継続して進める計画である。	【修士課程】 海外インターンシップ制度について、令和7年度は第一次募集（8月下旬〆切）、第二次募集（12月下旬〆切）、加えて個別の聞き取りなど募集活動を網羅的に行ったにもかかわらず、応募数は0であったため、本年度の実施には至らなかった。 また、本学は文部科学省「数理・データサイエンス・AI 教育の全国展開の推進」の特定分野校（理工農学分野）に採択されており、全国の大学と連携しつつ、数理・DS・AI教育の普及展開にも貢献した。令和６年度においてコンソーシアムの取組である数理データサイエンス標準教材の作成事業に対して、PBL系授業などの教材を提供したことを受け、令和７年度は前述標準教材の普及を１つの目的とした、九州工業大学、電気通信大学、静岡大学3大学による合同シンポジウムをハイブリッド形式で開催し、また同３大学で学会企画ワークショップを立ち上げ実施した。さらに令和７年度は応用基礎レベルの認定を受けた学生112名を対象に説明会ならびにアンケートを実施し、同レベル認定の意義を再確認した。 さらに、情報学専攻の母体である情報学部は、enPiT（成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成）のセキュリティ分野及び組込みシステム分野にも関わっており、東北大学、慶應義塾大学、東京電機大学、（株）ラック等とも連携した取組を行った。 【博士後期課程】 創造科学技術大学院では、2006年からインド工科大学ハイデラバード校など17の海外協定校とDouble Degree Programを実施しており、博士教育の国際的な連携を行った	理由には昨今の不安定な世界情勢が大きな一因を占めていると考えられる。特に欧米諸国を中心にした世界各国の物価高騰、さらにそれにも増してウクライナ、イスラエル（ガザ地区）、イランにおける戦争に例示される治安の極端な悪化などである。対策として、現在の応募条件（標準1～2か月の滞在）を短期的な研修の申請を受け入れる体制として整備し、大学院生のみを対象とする現状に対し、研究遂行能力や現地滞在中の管理体制を確約できる条件などを追加した上で応募可能にするように検討する。さらに、本学の国際連携推進機構とも今まで以上に緊密な連携を行う。

大学名	静岡大学	改組内容	研究科等の設置･増員（一般枠）

本事業対象となる研究科等の個数	1

１.本事業対象となる情報系組織の状況

１－１.博士課程

<内訳>

(1)

改組組織名	自然科学系教育部情報科学専攻

		年度		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		改組状況		選定		増員																
大区分	小区分	項目	単位																			
	事業計画に定める定員	入学定員	人	11	11	13	13	16	16	16	16	16	16									
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	11	11	13	13															
		入学者数	人	9	11	6	8															
		女子学生数	人	1	1	2	0															
		社会人学生数	人	3	3	2	1															
		留学生数	人	1	1	1	0															
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0	0															
		入学者数	人	5	7	7																
		女子学生数	人	2	0	1																
		社会人学生数	人	1	2	3																
		留学生数	人	3	4	4																
	入学者合計	入学定員(A)	人	11	11	13	13	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	14	18	13	8	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	3	1	3	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	4	5	5	1	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	4	5	5	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.27	1.64	1.00	0.62	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員(C)	人	33	33	35	37															
		在籍者数(D)	人	63	62	59	60															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.91	1.88	1.69	1.62	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	12	10	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		就職者数	人	11	8	10																
		進学者数	人	0	0	0																
		その他	人	1	2	3																
		進路不明	人	0	0	0																
	大学院博士課程	満期退学者数	人	1	2	2																
		学位取得者数	人	11	8	13																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	3	3	3	3															
		授業科目の単位数	単位	5	5	6	5															

大学名	静岡大学	改組内容	研究科等の設置･増員（一般枠）

本事業対象となる研究科等の個数	1

１.本事業対象となる情報系組織の状況

１－２.修士課程

<内訳>

(1)

改組組織名	総合科学技術研究科情報学専攻

					R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		年度																					
		改組状況			選定		増員																
大区分	小区分	項目		単位																			
	事業計画に定める定員	入学定員		人	60	60	85	85	85	85	85	85	85	85									
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員		人	60	60	85	85															
		入学者数		人	73	74	95	88															
		女子学生数		人	4	7	14	17															
		社会人学生数		人	2	1	0	1															
		留学生数		人	0	0	1	5															
	その他の学期	入学定員		人	0	0	0	0															
		入学者数		人	12	15	8																
		女子学生数		人	5	4	3																
		社会人学生数		人	0	0	0																
		留学生数		人	12	14	8																
	入学者合計	入学定員(A)		人	60	60	85	85	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)		人	85	89	103	88	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数		人	9	11	17	17	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数		人	2	1	0	1	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数		人	12	14	9	5	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）		倍	1.42	1.48	1.21	1.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員(C)		人	120	120	145	170															
		在籍者数(D)		人	163	174	205	211															
		収容定員充足率（D/C）		倍	1.36	1.45	1.41	1.24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数		人	71	78	86	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		就職者数		人	64	73	78																
		進学者数		人	4	2	6																
		その他		人	3	3	2																
		進路不明		人	0	0	0																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数		人	6	6	8	9															
		授業科目の単位数		単位	16	18	22	24															

大学名	静岡大学	改組内容	研究科等の設置･増員（一般枠）

２.情報系組織の状況

２－１.博士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度 選定	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	11	11	13	13															
		入学者数	人	9	11	6	8															
		女子学生数	人	1	1	2	0															
		社会人学生数	人	3	3	2	1															
		留学生数	人	1	1	1	0															
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0	0															
		入学者数	人	5	7	7																
		女子学生数	人	2	0	1																
		社会人学生数	人	1	2	3																
		留学生数	人	3	4	4																
	入学者合計	入学定員(A)	人	11	11	13	13	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	14	18	13	8	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	3	1	3	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	4	5	5	1	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	4	5	5	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.27	1.64	1.00	0.62			-	-			-	-	-	-	-	-	-		
	収容定員等	収容定員(C)	人	33	33	35	37															
		在籍者数(D)	人	63	62	59	60															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.91	1.88	1.69	1.62			-	-			-	-	-	-	-	-	-		
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	12	10	13																
		就職者数	人	11	8	10																
		進学者数	人	0	0	0																
		その他	人	1	2	3																
		進路不明	人	0	0	0																
	大学院博士課程	満期退学者数	人	1	2	2																
		学位取得者数	人	11	8	13																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	3	3	3	3															
		授業科目の単位数	単位	5	5	6	5															

大学名	静岡大学	改組内容	研究科等の設置･増員（一般枠）

2.情報系組織の状況

２－２.修士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度 選定	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	60	60	85	85															
		入学者数	人	73	74	95	88															
		女子学生数	人	4	7	14	17															
		社会人学生数	人	2	1	0	1															
		留学生数	人	0	0	1	5															
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0	0															
		入学者数	人	12	15	8																
		女子学生数	人	5	4	3																
		社会人学生数	人	0	0	0																
		留学生数	人	12	14	8																
	入学者合計	入学定員(A)	人	60	60	85	85	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	85	89	103	88	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	9	11	17	17	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	2	1	0	1	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	12	14	9	5	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.42	1.48	1.21	1.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員(C)	人	120	120	145	170															
		在籍者数(D)	人	163	174	205	211															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.36	1.45	1.41	1.24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	71	78	86																
		就職者数	人	64	73	78																
		進学者数	人	4	2	6																
		その他	人	3	3	2																
		進路不明	人	0	0	0																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	6	6	8	9															
		授業科目の単位数	単位	16	18	22	24															

大学名	静岡大学	改組内容	研究科等の設置･増員（一般枠）

2.情報系組織の状況

２－３.学士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度 選定	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	235	235	235	235															
		入学者数	人	244	235	241	242															
		女子学生数	人	65	68	80	79															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	2	0	0	1															
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0																
		入学者数	人	5	4	6																
		女子学生数	人	0	2	1																
		社会人学生数	人	0	0	0																
		留学生数	人	5	4	5																
	入学者合計	入学定員(A)	人	235	235	235	235	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	249	239	247	242	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	65	70	81	79	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	7	4	5	1	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.06	1.02	1.05	1.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員(C)	人	970	960	950	940															
		編入学定員	人	0	0	0	0															
		在籍者数(D)	人	1,062	1,048	1,042	1,029															
		編入学者数	人	5	6	10	5															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.09	1.09	1.10	1.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	237	240	239																
		就職者数	人	146	138	142																
		進学者数	人	81	96	92																
		その他	人	9	6	5																
		進路不明	人	1	0	0																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	12	11	14	16															
		授業科目の単位数	単位	73	55	85	83															

大学名	静岡大学	改組内容	研究科等の設置･増員（一般枠）

３.大学全体の状況

３－１.博士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	54	54	56	56															
		入学者数	人	27	32	27	36															
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0	0															
		入学者数	人	23	21	26																
	入学者合計	入学定員（A）	人	54	54	56	56	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	50	53	53	36	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.93	0.98	0.95	0.64	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員（C）	人	162	162	164	166															
		在籍者数（D）	人	206	210	190	193															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.27	1.30	1.16	1.16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

３.大学全体の状況

３－２.修士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	575	575	600	600															
		入学者数	人	581	627	618	656															
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0	0															
		入学者数	人	45	45	41																
	入学者合計	入学定員（A）	人	575	575	600	600	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	626	672	659	656	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.09	1.17	1.10	1.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員（C）	人	1,150	1,150	1,175	1,200															
		在籍者数（D）	人	1,299	1,350	1,361	1,388															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.13	1.17	1.16	1.16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

大学名	静岡大学	改組内容	研究科等の設置･増員（一般枠）

３.大学全体の状況

３－３.学士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	1,970	1,970	1,970	1,970															
		入学者数	人	2,011	2,020	2,012	2,013															
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0	0															
		入学者数	人	20	15	19																
	入学者合計	入学定員（A）	人	1,970	1,970	1,970	1,970	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	2,031	2,035	2,031	2,013	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.03	1.03	1.03	1.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員（C）	人	7,910	7,910	7,910	7,910															
		編入学定員	人	15	15	15	15															
		在籍者数（D）	人	8,447	8,458	8,465	8,490															
		編入学者数	人	16	21	9	9															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.07	1.07	1.07	1.07															

４.外部資金の状況（全学）

項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
外部資金獲得額	千円	2,667,111	2,618,725																	

特記事項

「1.本事業対象となる情報系組織の状況」の自然科学系教育部情報科学専攻のその他の学期の入学定員0人とは、若干名を意味している。

「1.本事業対象となる情報系組織の状況」の総合科学技術研究科情報学専攻のその他の学期の入学定員0人とは、若干名を意味している。

「2.情報学系組織の状況」の博士課程、修士課程及び学士課程のその他の学期の入学定員0人並びに学士課程の収容定員等の編入学定員0人とは、若干名を意味している。

「3.大学全体の状況」の博士課程、修士課程及び学士課程のその他の学期の入学定員0人とは、若干名を意味している。

「4.外部資金の状況（全学）」について、寄附金は当該年度に入金された金額を、受託研究･共同研究は当該年度に締結した契約の契約額を、科学研究費補助金は当該年度の交付決定金額（本学研究者が研究代表者である課題のみ）を計上している。